

令和6年度 児童発達支援自己評価表

	チェック項目	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が療育室等スペースとの関係で適切であるか	法令に遵守した配置になっていますが、室内で走り回る等には広さが足りないため、広さに応じた活動を設定します
	② 職員の配置数は適切であるか	法令に遵守した配置になっています
	③ 事業所の設備などについて、利用者に応じた配慮がなされているか	利用者の療育内容に応じた配慮を行っています
	④ 療育室内は個々の子どもの状態に応じた配慮がなされているか	
	⑤ 事業所内の安全対策が十分になされているか	使用する用具は適宜点検を行い、事業所内の設備の安全についても配慮をしています
	⑥ 事業所内は常に衛生的な状態に保たれているか	日々の清掃、整理整頓に加え、使用した用具、室内は療育毎にアルコール消毒を行っています
業務改善	⑦ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	療育後の振り返りを実施し、全職員がPDCAサイクルを実行しています
	⑧ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様からのご意見やご要望を受けて、業務の改善に努めています
	⑨ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	年度末にホームページ上で公開しています
	⑩ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による評価は受けていません
	⑪ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	職責に応じた研修の機会を設けています
	⑫ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	保護者様のニーズを踏まえ、利用者様のアセスメントに基づいた療育を分析して個別支援計画を作成しています
	⑬ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	新版K式発達検査・LDT-R発達検査 小学生以上は上記の検査に加えて「読み書きアセスメント」を実施しています
	⑭ 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択された上で、具体的な支援内容が設定されているか	2024年の法改正により「運動・感覚」「人間関係・社会性」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「健康・生活」の5療育の視点で計画、策定を行い、支援計画に基づいた療育を実施しています
	⑮ 個別支援計画に沿った支援が行われているか	
	⑯ 子どもに合ったプログラムを立案できるよう、チームもしくは複数名の職員で検討しているか	プログラムの立案は関わる職員が協議して、子どもの状況に応じて作成しています
	⑰ プログラムが固定化しないよう工夫しているか	また利用者様の能力を伸ばすために、繰り返し取り組み「やったらできた」の体験ができるように工夫しています
	⑱ 子どもの状況に応じて、個別、集団による支援を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	個別・集団の療育の中で、利用者様毎に5療育を網羅した個別支援計画を作成しています
	⑲ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	活動前の打合せと活動後の振り返りは関わる職員全てと実施し、利用者様に必要な情報を共有し、職員毎の役割を明確にして、利用者様に適した療育を提供しています
	⑳ 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた療育の振り返りを行い、気付いた点などを共有しているか	

関係機関や保護者との連携	⑳	障害時相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	本年度の実施はありませんでした 必要に応じて児発管・管理者が参画します
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	幼稚園・保育園訪問等により顔の見える関係作りを行っています
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の状況共有と相互理解を図っているか	保護者様のニーズに合わせて利用者様の所属機関と連携を図り、支援内容を共有しています
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	本年度は参加する機会がありませんでした
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	
	㉖	自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	鶴見区障害児関係機関連絡会の事務局として参加しています
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	療育後に実施しているフィードバック時に保護者様と利用者様の状況や課題について共有し、さらに必要な助言を行い、家庭での対応力向上のための支援も行っています
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、家庭での対応方法などについて助言等を行っているか	
保護者への説明責任等	㉙	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	保護者様には契約時、更新時に直接説明し、さらに事業所内に掲示してお知らせしています
	㉚	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	個別支援計画を読み合わせし、必要な支援内容について同意をいただいています
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者様からのご相談についてはフィードバック時に応じたり、場合によっては電話やLine等でお受けしています 保護者様の状況に合わせて適宜相談に応じています
	㉜	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	
	㉝	個人情報の取扱いに十分注意しているか	基本的に施錠できる保管庫に収納し、PC等のセキュリティも強化しています
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	利用者様や保護者様の状態に配慮した情報伝達に努めています
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	本年度は機会がありませんでした
非常時等の対応	㊱	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し委員会の開催、指針の整備等に取り組み、訓練を実施しています
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救助その他必要な訓練を行っているか	療育プログラムに避難訓練を取り入れ、利用者様全員が実施できるようにしています
	㊳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	終礼時にヒヤリハットの確認と対応を行い日誌に記録をしていますが、事例集の作成は行っていません
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保しているか	虐待対策委員による研修を実施し、職員の虐待への見識を高めています
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	身体拘束について実施することはありませんが、身体拘束等の適正化の対策について実施しています